## 連載=四国八十八ヵ所めぐり

## 「歩き遍路の旅」8

会員 樋口俊介

#### 修業の道場(土佐の国)その4

24番(最御崎寺)~39番(延光寺)」合計 16ヶ寺 (高知県)

海を眺め、空を仰ぎ、ひたすら前へ室戸・足摺の2つの岬を廻り、16札所を巡拝する。歩き遍路には遥かな道のりの修行の道場だ

23 番札所(薬王寺)に参拝したあとは、おおよそ 80km かなたの室戸岬へと遍路の道をたどることになる。

当日に歩くお寺に関する由来とか伝説等の内容を分かる範囲で説明をします。必ず最後まで歩き通します。

#### 第25回

<u>平第成22年6月14日(月)七子峠越え</u> (久礼〜窪川)

> 歩き(ウォーギング) 遍路 札所0ヶ所 約18km

#### 筆者紀行

4時50分に起床し近くのローソンで友達の車に乗せてもらい林原に6時20分に着き、バスに乗り林原では6名で6時41分に発車し、途中で6名乗車し倉敷で21名乗り合計で参加者が33名で倉敷を7時30分に出る早島から瀬戸中央道に乗り、豊浜SAで休憩し前回歩き終えた久礼に10時20分に到着する。少し前にかわうそでトイレ休憩する。

10時35分から歩き出すも、しばらくは平坦 な道だが道路の高架工事の近くから階段を93 段下がり、今度は七子峠へ行く道で階段を上 がるが、なんと432段(途中の展望台に上がる 含む)もあり、全体の階段の総数は486段(下 993段、上り393段)大変でした。その後も急な上り坂、下り坂や細い道を歩き七子峠近くに



着く、そこからバスで 仁井田まで行き昼食 をする。

#### 七子峠へ行く

バスで再度七子峠近くまで帰り、歩き始めは 14時30分から山の中の遍路道へ、日頃から の管理や整備が大変です。

人の手が入らなければ、すぐに荒れてしまう。 私たちが迷うことなく歩けるのも、「遍路道を残 そう」という多くの方々の努力があるからこそ。 感謝です!影野を通り米所の仁井田と静かな 田園、山なみ木々の新鮮な風を受け美味しい 空気を吸い気分は爽快、歩く事は素晴らしい と感じる瞬間です。





#### 七子峠に着く

美味しいお米の郷

途中で休憩を3回とり今日の目的地の窪川 に17時02分に到着し、バスに乗り帰路岡山へ 17時10に出発して、早島ICで下り、我が家に は22時20分に帰宅。

今日も無事で帰れて有難う!身体のあちこちが痛いが気分の方は爽快です。ありがとう!皆さん感謝!家族に感謝!身体に感謝!なお本日の歩数は29.540歩でした。

#### 第26回

平第成22年7月12日(月)ローカル線に沿って 歩く(道の駅あぐり窪川〜伊与喜)

歩き(ウォーギング) 遍路 札所1ヶ所 約 20km

#### 37番(藤井山)岩本寺

所在地=高知県高岡郡四万十町茂串町 3-13

電 話=(0880)-22-0376

宗派=真言宗智山派 開基=行基 本尊=不動明王ほか

○行基の開基。後に弘法大師が訪れてさらに五 か寺を建立し、五体の本尊像を刻んだ。今で は一寺が残り不動明王の他、観世音菩薩・阿 弥陀如来・薬師如来・地蔵菩薩の本尊を祭る。

#### ◎不動明王について

炎を背負い右手に剣を持ち、怒りの形相で 悪をこらしめる。仏道を全うして煩悩をもうち砕 く。大日如来の使者である。

#### 筆者紀行

友達の車に乗せてもらい林原に6時20分に 着き、バスに乗り換え6時43分に発車して倉敷 により、18名の参加者を含め合計で24名と少なく中型者(25人乗り)でした。

豊浜SA, 須崎東ICで下りて前回歩き終えた 窪川には10時58分に到着し、準備などを整え 11時15分から歩き出し、「横浪黒潮ライン」沿 いに、土佐勤王党・盟主の武市半平太像が、 太平洋に向かって立っていた。





37 番岩本寺

円形のお堂

武市半平太は坂本龍馬と親戚で、龍馬とともに幕末に活躍した人。約1時間くらいで37番岩本寺に着く、入口に和菓子屋さんがあり「三度栗」という名の栗の形をしたお菓子が陳列されていた。この銘菓「三度栗」は、岩本寺の七不思議「三度栗伝説」にちなんで作られたそうです。その伝説とは岩本寺にある栗の木が関係しているようで、今も境内にあります。なお伝説の内容はお楽しみに!本堂の天井に575枚の絵がはめ込まれていて、その中にはマリリン・モンローの絵もあり十分に楽しませてもらっ

た。また境内には丸い円形のお堂があり中に は2体の歓喜天が、祀られている。なお本尊は なんと5体もあり、60年に1度のご開帳の秘 仏。





38番へと歩く

峰/上へ歩く

36番から約55kmの道のりを歩いて来た、お寺(37番岩本寺)で、3回にかけて漸く辿り着いたお寺だ!本堂、大師堂にお参りし皆で心を込めて大きな声で読経をする。

あと歩いて四万十の水車屋(大少の水車が多数あり)で、昼食を(12時20分~13時15分)、特にうどんが美味しかったです。 13時20分から歩き拳の川を通り今日の目的地の伊与喜まで途中で4回くらい休憩する。

女性の方が犬に噛まれる災難があり、すぐに病院に行き診察して貰う、傷跡も少しで特に支障なく17時20分に到着する。バスで帰路へ須崎東ICに入り児島インター、早島ICで下りて倉敷に21時20分に着き林原に22時05分に到着する。

我が家には22時50分に帰宅できた。疲れは 有るが何かしら達成感が勝り気分爽快である。 今日も無事で帰れて有難う!

みなさんに感謝!家族に感謝!身体に感謝! 次も頑張るぞ!!

なお本日の歩数は32.053歩でした。

#### 第27回

平第成22年9月13日(月)遥かなる足摺をめざ して(伊与喜〜土佐入野)

> 歩き(ウォーギング) 遍路 札所0ヶ所 約20km

#### 筆者紀行

近くのローソンから友達の車に乗せてもらい、 山幸駐車場に6時45分に着き7時05分発のバス に乗り倉敷経由で早島ICに入り瀬戸中央道、児 島インターで2名乗り本日の参加者は合計31名 で出発し途中の「ゆういんぐ四万十」で休憩を取 り、前回歩き終えた伊与喜には11時12分に到着 する。

準備等を済ませ11時20分から歩き出す、しばらくして遍路道に入り山を登り熊井峠を越しそよ風を受け美味しい空気を吸い、気分は快調で佐賀まで歩き近くの庄寿庵で昼食するがカツオのタタキやツクダ煮等、美味しく満足でした。





熊井峠へと上る

昼食をした店

13時10分から再度歩き出すも足摺を目指して 白浜、井ノ岬を通り歩けども歩けども同じ様な風 景(太平洋の土佐湾)に沿って海岸線を歩き、気 温も33度と高く暑いし汗は出る、足には豆ができ 膝も痛く限界に近くなるが気を引き締め、上川口 を通り過ぎ今日の目的地の土佐入野まで頑張る。 16時20分に到着しバスに乗り一路岡山へ。

早島インターで下り倉敷を経由して、我が家に 22時05分に帰宅する。

今日も無事に帰れて感謝!ありがとう! なお本日の歩数は25.809歩でした。

#### 第28回

平成22年10月18日(月)~10月19日(火)清 流四万十を渡り大岐海岸へ(土佐入野~以布 利)

歩き(ウォーキング) 温路 札所0ヵ所 1泊 2日 約37km

#### 筆者紀行

○一日目は道の駅ビオスおおがた(昼食)から

#### 伊豆田トンネルまでの約18km

山幸に6時45分に着き、7時05分発のバスに乗り早島ICに上り児島インターで2名乗り参加者は合計25名で出発し、須崎東ICで下り前回歩き終えた道の駅ビオスおおがたに11時40分に到着、すぐに昼食を済ませて少し休養のあとは準備を整え12時20分から歩き始める。

しばらくして絶景の松並木(約2km)の中を 抜けて砂浜(美しい大岐の浜海岸)歩く(約1. 2km)左側には白く美しい激しい波、高い波、 そこで5、6人の若者がサーフインしている近く を通るが、彼らは夢中に自然の中での雄大で 楽しみを満喫している様でした。



足摺を目指し海岸線を歩く

途中で時々遍路道に入るが気分が安らぎ、新たな気持ちが芽生える。国道56号等を歩き四万十大橋(清流)を渡るが、橋の途中で偶然に遊覧船2艇が優雅に進んでいる情景を真下に見て長閑に安らぎを感じ、やがて伊豆田トンネル(1620m)に入り、歩道が狭く少し暗い中で約25分間かけてやっと抜けたが、白い砂浜が美しい大岐の海岸に出て気分が晴れやかに生き返ったようでした。





四万十大橋を渡る

四万十川での遊覧船

本日の目標地には17時06分に到着し、バスで宿泊予定のロイヤル四万十に向け発車して17時30分に着き、早速にお風呂に入らせて頂き疲れを充分に癒す。夕食のあとは皆さんとくつろぎ気分和やかに雑談し22時頃には睡眠する。明日も頑張るぞ

なお本日の歩数は28.331歩でした。

### ○2日目は前日歩き終えた伊豆田トンネルから以 布利までの約19km

4時50分に起床し朝食はバイキング(6時05分~6時40分)を済ませ、バスでホテルを7時05分に出発して前日歩き終えた伊豆田トンネル近くに7時26分に到着する。





#### 大岐の美しい海岸 アカウミガメの産卵場所

7時31分から歩き始め大岐の美しい海岸沿いにしばし海を眺めて久百々を通り繁華街の国道56号、321号線等の歩道を歩くが交通量が多く大変に危険であった。途中に休憩を3回くらい取り本日の目的地の以布利に12時01分に到着する。約19kmを歩き終えた。バスで土佐清水まで行き昼食(カツオのたたき)をする。

再度以布利に戻り帰路岡山へと須崎東IC に上がり豊浜SAで休憩して、山幸には18時5 0分に到着する、我が家には20時05分に帰 宅する。

#### なお本日の歩数は28.594歩でした。

今日も無事で帰れてありがとう! 皆さんに感謝! 家族に感謝! 身体に感謝!

合計約37kmで56. 925歩でした。「1日目28. 331歩」「2日目28594歩」

#### 第29回

## <u>平成22年11月01日(月)~11月02日(火)足</u> <u>摺岬を歩く(以布利~三原村)</u>

歩き(ウォーキング) 遍路 札所1ヵ所 1泊 2日 約33km

#### 38番(さださん)金剛福寺

所在地=高知県土佐清水市足摺岬 214-1 電 話=(0880)-88-0038 宗派=真言宗豊山派 開基=弘法大師 本尊=三面千手観音菩薩

- ○嵯峨天皇の勅願により開基した。本尊は三面 千手観音菩薩、脇仏は、不動明王と毘沙門天。 もっとも観音の住まう楽園に近い場所として、こ こを霊場とし、みずから本尊を刻んだ。
- ◎千手観音菩薩について

千手千眼観自在菩薩というのが正式な名前 で、それぞれの手に眼を持つ。さまざまな持ち 物を手にし世界の衆生を救済する。

#### 筆者紀行

# ○一日目は以布利から38番金剛福寺までの約16km

4時50分に起床し友達の車に乗せてもらい山幸の駐車場に6時40分に着き7時05分発のバスに乗り倉敷を経由し当日の参加者35名で先達さんは坂出で乗車する。豊浜SAで休憩を挟んで須崎東ICで下り、バス内にて昼食の弁当を(11時~11時30分)食べ、前回歩き終えた以布利に、12時35分に到着し準備等を済ませ12時45分から歩き始める。

ひたすら海を眺め心地よい潮風を受け歩き 続けるが疲れもピークに達する、しかしすれ違 う人々の励ましの言葉等や自然の環境の良さ 等を享受し疲れを忘れ元気を取り戻す、それ でも途中で休憩を2回して、やっとの事で16時 25分に38番金剛福寺に到着する。

足摺岬は四国最南端の有名観光スポットでもあり、インドの観音様が住む山という「補陀洛山」に、最も近い場所と言われているそうだ。そのため、金剛福寺は、まさに補陀洛山を表しているかのような造りになっていた。池や岩が上品に配置されている広大な境内には、数々のお堂が建ち並び、その広さと豪華さには非常に感動した。





38 番金剛福寺入り口 金剛福寺

本堂、大師堂にお参りをして、大きな声で気持ちを込めて読経をみんなで唱える。

16時50分から先達さんの案内で弘法大師 七不思議や白山洞門等の見学をして17時20 分バスでホテルへ、早速にお風呂に入り疲れ を癒し夕食を済ませ皆さんと楽しい雑談を、22 時50分に睡眠する。

なお本日の歩数は24.687歩でした。

# ○2日目は下ノ加江(ドライブイン水車)から三原村いこいの森までの約17km

5時20分に起床し6時15分に朝食を済ませ、ホテルをバスで7時28分に出発し前日に歩き終えた所へ、下ノ加江(ドライブン水車)から歩き始め一部の遍路道での峠を越し、県道27号線の宮ノ川を通り三原村いこいの森に、休憩を取り本日の目的地には4時間くらい歩き12時30分頃に着く。

此れから先はまだまだ「修行の道場」の最後の39番に向け苦難の連続だと思うが、修行の精神を忘れず自分の気持ちを引き締め、必ず最後まで歩き通します。





三原村いこいの森へ 39 番延光寺へ歩く

バスで四万十に行き昼食をする。再度歩き終えた場所に帰路岡山へ須崎東ICに上がり早島ICで下り、山幸に19時25分に友達の車に便乗して20時30分に我が家に帰宅する。今回も無事で帰れて有難う!!皆さんに感謝!家族に感謝!身体に感謝!

合計約33kmで50.318歩でした。「1日目24.687歩」「2日目25.631歩」

#### 第30回

## <u>平成22年12月6日(月)~12月7日(火)再び山</u> <u>~向かう県境越え(三原村~一本松)</u>

歩き(ウォーキング) 遍路 札所1ヵ所 1泊2日 約28km

#### 39番(赤亀山)延光寺

所在地=高知県宿毛市平田町中山390 電 話=(0880)-66-0225

> 宗派=真言宗智山派 開基=行基

本尊=薬師如来

- ○「修行の道場」といわれる土佐の札所めぐり、 最後の寺。亀が鐘を背負ってきたという伝説 は、山号の由来にもなっている。本尊の薬 師如来は、聖武天皇の勅願によって行基が 刻んだもの。
- ◎薬師如来について

人間の病苦を癒し心の苦悩、厄を取り除くなど12の誓願をあらわす如来で、四国霊場にはいちばん多く祀られている。

#### 筆者紀行

### ○一日目は星ヶ浦へんろ小屋から39番延光寺 までの約17km

6時45分に山幸の駐車場に着き7時01分発のバスに乗り倉敷を経由し、参加者39名で坂出インターでは先達さんを乗せ須崎東ICで、下り前回歩き終えた星ヶ浦へんろ小屋と走り、昼食はバス内で11時30分頃に弁当を食べ、12時25分に到着する。

12 時 35 分から歩き出し暫くして約5kmくらい 遍路道を歩くが、身体に優しく気持ちよく歩けて全く疲れを感じさせない環境で、これぞ歩きの醍醐味と思える一瞬です。それと比較して国道、県道等のアスファルトを歩く時の疲れの度合いが明らかに違う様です。





39番へ行く途中

39 番延光寺

平田を通りやっとの事で「修行の道場」の最後の39番延光寺に到着する。早速に本堂、大師堂にお参りを済ませ参加者全員で大きな声で心を込めて読経する。境内の池に棲んでいた赤亀が、竜宮から鐘を背負って来たという伝説がある。その鐘は、国の重要文化財。そのため境内には、その伝説にちなんだ背中に鐘が乗っている亀の像がある。

また眼病に御利益があると伝えられる「目洗い井戸」(宝医水)が本堂横にある。そして境内には「新西国霊場本尊奉安所」と書かれた立看板があり、前掛けの石像が横一列に並べられ、かなりの数があり圧倒された。

少し見学の後に本日の目的地の宿毛手前まで歩き、あとバスで(宿毛)秋沢ホテルへ17時25分に到着する。すぐに風呂に入るもぬるく(温度が低い)寒いために直ちに上がり睡眠するも、寝られず大変に困りました。なお本日の歩数は29.389歩でした。

#### ○2日目は宿毛手前から一本松まで約16km

5時20分に起床しバスでホテルを7時25分に 出発し、前日に歩き終えた宿毛手前まで、準 備を整え歩き始めるも本日は遍路道での松尾 峠を越える(海抜350m)上り下りもあるが前日 のアスファルトを歩くのと違い、疲れは少なく気 分爽快に足取りも軽く一本松に向け歩く11時 10分頃に切り上げ。

あとバスで愛南町まで行き昼食(11時20分~11時55分)を済ませて再度バスで歩き終えた所へ、そこから(12時05分)一本松へ向け歩くが、遍路道は毎度ながら足に優しく自然環境に恵まれ疲れを感じさせない様な気がします。





松尾坂についての説明

松尾峠の境界

本日の目標地には13時10分に到着し、バスに乗り一路岡山へ倉敷を経由し、我が家には19時40分に帰宅する。

本日は約16kmを5時間30分くらい(山道で上り下りが多く)で歩く。

本日も無事で帰れて有難う!皆さんに感謝! 家族に感謝!身体に感謝!

なお本日の歩数は24.913歩でした。 合計約33kmで54.302歩でした。「1日目29. 389歩」「2日目24.913歩」

※今日で第二部の「修行の道場」土佐の国24番~39番(16ヶ寺)が終わり、次は伊予の国へ歩き続けます。どうぞ宜しくお願いします。まだまだ続きます!!